

「尾崎小学校の尾崎三尺棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

阿久根市立尾崎小学校

2 学 年

全学年（計 10 人）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

毎月 1 回 総合的な学習の時間（1・2 年生は創意）

9 月は尾崎棒踊り保存会及び尾崎棒踊り保存会 O B の指導により、昼と夜に集中練習を行う。

（2）発表の日時・場所

平成 28 年 10 月 2 日（日）校区合同秋季大運動会（尾崎小学校校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

（1）名称

尾崎三尺棒踊り（おさきさんじゃくぼうおどり）

（2）由来

数百年前から踊り継がれているものであるらしいが、詳しい資料が残っていない。地域の老人会、保存会、文化協会の方に伺ったが詳しいことは分からない。

（3）構成等

6 人 1 組で踊る。3 列縦隊が基本である。

頭には白のはちまきをし、かすりの着物を着る。足は黒の靴下の上に、わらじを履く。腰には堅木の三尺棒を差す。

5 保存会や地域との連携の具体

昭和 40 年代人口の減少とともに、伝承活動も途絶えがちであったが、昭和 54 年尾崎小体育館落成記念式典にあたり、尾崎三尺棒踊り保存会の支援を受け、5・6 年生児童で「郷土芸能『尾崎三尺棒踊り』児童保存会」が結成され、14 年ぶりに尾崎三尺棒踊りが復活した。その後 38 年間継承されている。平成 20 年からは、総合的な学習の時間に毎月 1 回全校で練習を行い、秋の運動会で披露している。

6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

（1）尾崎棒踊り保存会には会員の仕事の都合で主に夜に指導を受けてきたが、保存会 O B の皆さんに昼間も指導を受けることにより、下学年も短期間で踊りを覚えることができた。

（2）着物・帯等を使用のたびにクリーニングに出すなどして大切に保管している。

7 取組の様子(運動会で披露・全体写真)



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(1) 児童

総合的な学習の時間に郷土の歴史やよさを調べている。また、毎月三尺棒踊りの練習を行っている。その成果を運動会で披露できてうれしい。

(2) 保護者・保存会

昔ながらの伝統を受け継いでもらいうれしい。人数は少なくなったが、保護者の手伝いをもらうなどして今後も継続させたい。

低学年の子供には少し難しいところもあるが、子供なりによく踊っている。

(3) 教職員

高学年がリーダーとなって下学年に教えるという流れがしっかりできている。毎月練習を行っているので、子供の覚え方もスムーズである。

保存会OBの方のきりっとした踊りを見せるだけでも、子供たちに郷土のすばらしさを感じさせるよい機会になった。